

第 1 学年	理科	使用教科書等	教科書（「未来に広がるサイエンス 1」 啓林館） ノート 問題集	担当教員	玉置 修士
--------	----	--------	----------------------------------	------	-------

【学習の目標】 自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象について理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
--

【授業の進め方や授業のポイントは何か】 ○実験や観察に意欲的に取り組みましょう。 予想を立て、実験を通して検証してみましょう。考察やまとめで調べたことを整理しましょう。 ○ノートの取り方を工夫しましょう。 見直したとき、何が書いてあるか一目でわかるノート作りを心掛け、気付いたこともメモをとりましょう。 ○自分の考えが発表できるようになろう。 人の意見を聞き、自分はその意見に対してどのように思うのか、自分の言葉で表現することはとても大切です。	【どのように家庭学習を進めればよいか】 ○予習、復習を大切にします。 次の学習内容に目を通しておくことで、授業内容が理解しやすくなります。また、学習したことを見直すことで知識が定着します。 ○自分自身の疑問「なぜ」「どうして」を大切にします。 不思議に感じたことが、新しい発見や学ぶ楽しさにつながります。疑問に感じたことを自分で調べることが大切です。授業にも活かされます。
---	---

【通知表のつけ方】	
評価の観点	何で頑張りを見るか
知識・技能	定期テスト 実験・観察の取組 実験レポート 授業中の発表内容 小テスト
思考・判断・表現	定期テスト 授業中の発表内容 実験レポート 小テスト
主体的に学習に取り組む態度	課題レポート 授業での発表内容 授業の振り返り

【1年間の授業計画】							
学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの	学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの
1 学 期	・自然の中にあふれる生命 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類 ・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質	・身近な生物を観察、記録する技能 ・植物のつくりを調べ特徴を理解し、その特徴をもとに分類できる力 ・動物のつくりを調べ特徴を理解し、その特徴をもとに分類できる力 ・様々な物質の性質を実験をもとに比較できる技能 ・様々な気体の発生方法と性質の違いを調べる実験を行う技能	教科書 ノート 問題集	2 学 期	・音による現象 ・力による現象 ・身近な大地	・音の正体や高低を調べる実験を行う技能と内容の理解 ・フックの法則を見いだす実験、力を図で表し、力のつり合いが理解できる力 ・プレートの動きや地層の成り立ちを説明できる力	教科書 ノート 問題集
				3 学 期	・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地	・地震にかかわる知識を身に付け、地震が発生する仕組みをプレートの動きに関連させて理解し、防災について考えることができる力 ・岩石を観察し、そのでき方を考察する技能と、マグマの性質とできる火山や火成岩の特徴の関係を理解する力 ・堆積岩の観察からその成り立ちを考察する技能と、地層と化石などから当時の環境を推定できる力	教科書 ノート 問題集
2 学 期	・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化 ・光による現象	・粒子を用いた水溶液の性質の説明や、濃度の計算、再結晶のしくみの説明ができる力 ・粒子を用いた物質の状態変化と質量や体積の関係の理解、蒸留の実験を行う技能 ・反射、屈折、凸レンズを通る光の進み方を調べる実験を行う技能、仕組みを説明できる力	教科書 ノート 問題集	※定期テストの予定 1 学期 中間テスト、期末テスト 2 学期 夏休み課題テスト、中間テスト、期末テスト 3 学期 冬休み課題テスト、学年末テスト			